

第3回 未来創造セミナー実績報告

平成27年11月17日
草津市総合政策部草津未来研究所

1. 平成27年度未来研究所事業 未来創造セミナーの目的

草津未来研究所が行った過去の調査研究において南草津の課題解決のためには「気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造」される場が必要との提言を行ったことから、「未来創造セミナー」を開催することとしました。未来創造セミナーにおける主な検討項目は下記のとおりです。

【検討項目】

- ・ トーク空間の必要性の検討（検証）
- ・ 気軽に自由にまちづくりについて議論や話ができる空間に対する市民のニーズ把握
- ・ 気軽に自由に議論や話ができる空間演出の検討
- ・ ワークショップ等の手法の試行
- ・ 開催曜日、開催時間等のニーズ調査

2. 未来創造セミナーの開催内容

まちづくりについて行政、大学、市民（在住者、通学市民、通勤市民、活動市民、企業市民）が自由に話し合う開かれた場とします。今年度はテーマ、及びワークショップ手法を変え、6回の実施を予定しています。

未来創造セミナーの目的は「開かれた場の有効性と空間演出の検討ですが、各回のテーマについては下記のことを期待しています。

- ・ 草津未来研究所主催、担当課が協力することにより、担当課の職員も市民の立場でも対話できる仕掛け。
- ・ 担当者が市民と直接対話することにより、間接的にまちづくり政策に反映を期待。
- ・ 和やかな雰囲気の中で異なる立場の他者の意見を聞くことによる新たな気づきや抱いている思いを言葉に出す。
- ・ まちづくり政策への反映は担当課が判断する。

また未来創造セミナーの基本的な流れは以下の通りです。

- ・ まちづくり政策についてのアンケート結果等をわかりやすく説明するだけでなく、アンケートで見えなかったことを参加者に問いかける。

- ・ 大学の先生から、問いかけを考える上での基礎的知識やヒントを提供する。
- ・ 様々な立場の人がワークショップで解決策を話し合う。
- ・ 参加者全員で個々の意見や経験を共有する。

3. 未来創造セミナー開催実績及び予定

今年度の予定は以下の通りですが、内容については今後変更の可能性がります。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
テーマ	理想とする女性の働き方	子育てしやすいまち	アーバンデザイン	文化	健康	大学地域連携
専門家	二宮周平 (立命館) 京楽真帆子 (滋賀県立)	小沢道紀 (立命館)	武田史朗 (立命館)	木下達文 (京都橘)	岡本直輝 (立命館)	肥塚浩 (立命館)
開催日時	平成27年 7月22日	平成27年 8月25日	平成27年 11月5日	平成27年 12月3日	平成28年 1月26日	平成28年 2月予定

4. 第3回 未来創造セミナー実績報告

(1) テーマ、目的等

①テーマ

「みんなでつくろう歩きたい”草津”

～アーバンデザインはイメージの結晶（クリスタル）！」

②連携 都市計画課

③目的

アーバン・デザインという考え方について、簡単なワークショップを行い、面白さ。有用さを感じてもらい、今後の活動の選択肢を増やすこと。

(2) 日時：11月5日（木）18：00～から

(3) 場所：市民交流プラザ 大会議室

(4) 当日のスケジュール

18：00	ご挨拶 草津市総合政策部草津未来研究所 副所長 山本 憲一)
18：05 ～	「 アーバンデザインはイメージの結晶（クリスタル）！ 」
18：20	武田 史朗 先生（立命館大学理工学部）
18：20 ～	みんなでつくろう歩きたい“草津”
19：20	（ワークショップ中はトイレ、ドリンク等のご自由にお取りください）
19：20 ～	プレゼンテーション
19：50	
19：55	閉会

5. 第3回未来創造セミナーの内容について

(1) アーバンデザインの説明

武田先生よりアーバンデザインの考え方について説明いただきました。

専門分野：建築・ランドスケープ



【ランドスケープ・アーキテクチャ】
都市のオープンスペースや、公園、緑地などの計画や設計

例：ボストン・パークシステム
(19c後半、通称「エメラルドネックレス」)



5

アーバンデザインとは？

- 都市空間（アーバンスペース）は、多くの建築物、道路、樹木、街灯やベンチなどによって構成されています。
- その空間には歴史があり、複合化した地域の課題があり、人々の活動があり、そして、未来への可能性が広がっています。
- アーバンデザイン：
地域の歴史や現状を知り、地域の個々の課題を構造化し、地域の複合的な課題として捉えたうえで、未来のまちのイメージについてみんなで話し合い、共有することにより、未来を創造するための新たな活動を産みだし、人々のニーズにあった都市空間をデザインすること。

アーバンデザインの重要なポイント

- 地域を知り、お互いを知ること
 - 過去の庶民の暮らしの工夫や知恵を再発見すること
 - 地域の現在の状況及び課題を可能な限り把握すること
 - 単一な課題群を構造化し、複合化した課題として認識すること
 - 活動を通じてお互いを知り合うこと
- 未来のまちのイメージを共有すること
- 新たな活動を創出すること

そこで…

みんなで、歩きたい“草津”のイメージを交換し、共有し、発見する。

- それぞれの「お気に入り」の“草津”を持ち寄り、魅力を伝え合う。
- それらをめぐり歩く散歩道を一緒に考え、ストーリーを共有する。
- コースを売り込む。
- 本当はもっと良くなる！というポイントがあれば発見し、共有する。
- 未来につなげる。

(2) ワークショップの進め方

ワークショップは下表のように進めました。

18:20 ~ 18:35	おすすめ場所の紹介
18:55 ~ 19:05	散歩道を考える
19:05 ~ 19:20	散歩道に順位をつける
19:20 ~ 19:50	発表

(3) ワークショップ おすすめ場所の紹介

4グループに分かれ、まずはグループで各自のおすすめ場所を紹介しあいました。



ワークショップの様子

- ・ 立命館大学、奈良大学の学生にお手伝いいただきました。
- ・ 子どもは地域の専門家、子どもたちも積極的に話し合いに参加しました。
- ・ ソフトバンク社のご協力で各グループにiPad 1台を配置、Googleマップ等で場所を確認しました。

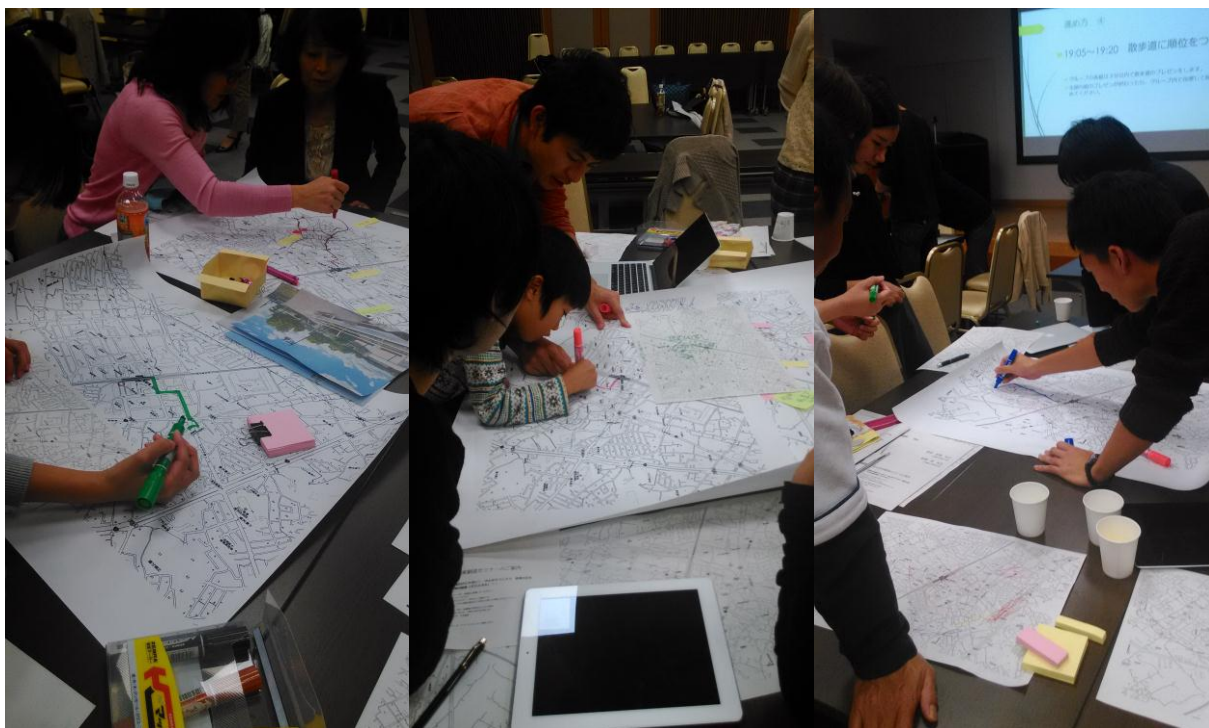
(4) ワークショップ 散歩道を考える

そのあと、さらに3組に分かれ、各組で下記の条件で散歩道を考えました。

12

散歩道の条件

1. おすすめ場所を二か所以上回ること
2. 南草津駅を出発点に往復で30分ぐらいで回れること。
 1. 30分は寄り道もなにもしないで淡々と歩く場合にかかる時間です。
 2. 魅力ある散歩道の場合は実際の時間が長いほどいいかもしれません。
3. 散歩道にストーリーを考えること。
4. 散歩道にキャッチフレーズを作ること。



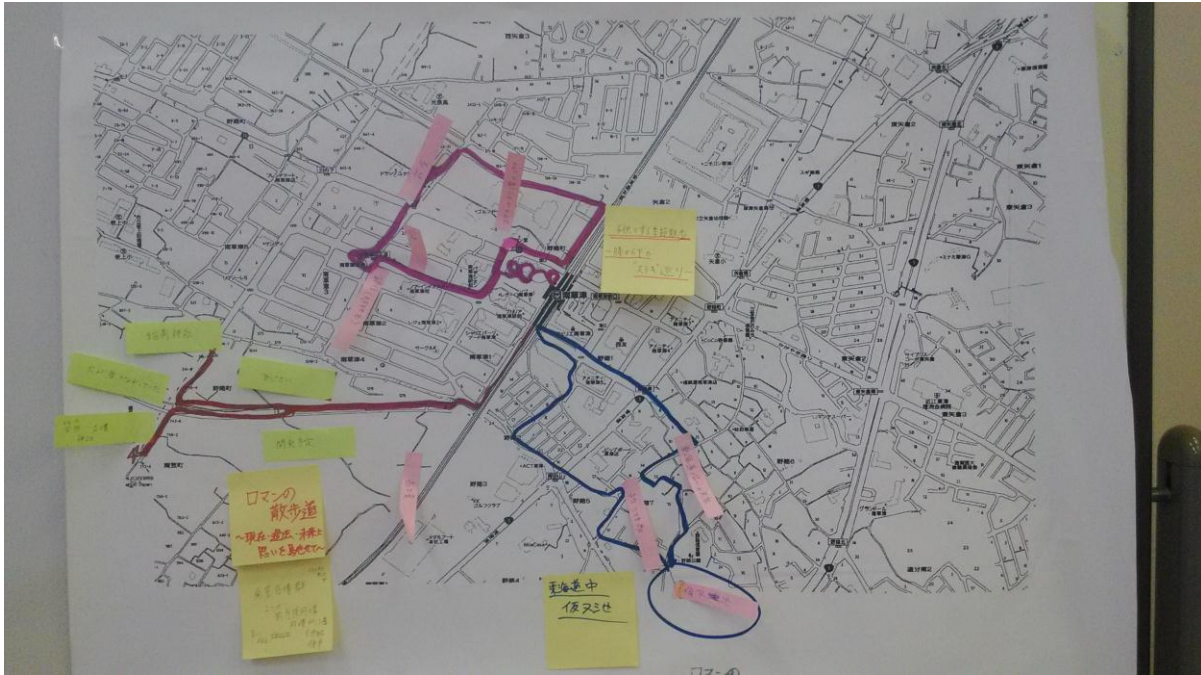
散歩道の検討

(5) ワークショップ 散歩道に順位をつける。

グループ毎に三つの散歩道ができました。グループ内で各組の散歩道を紹介しあい、順位をつけました。

(6) ワークショップ 発表

グループから代表一人を選出し、三位から順番に散歩道を説明しました。





(7) アーバンデザインとしてのまとめ

今回は夜間でしたので、学生にも参加いただきました。学生と子育て世代の方、そして小学生も参加し、同じまちでも、それぞれの立場でまちの見え方が違うこと（アーバンデザインの基本である「地域を知り、お互いを知る」）を実感してもらうことができました。アンケ

ートの感想でも、まずは地域を知り、お互いを知るというアーバンデザインの考え方について十分に理解していただいたと考えています。

(アンケートの主な意見)

- 世代や目線によって散歩コースの違いをプレゼンで感じました。私は草津歴が短かく、今回のグループの方も草津在住でない方や学生の方でしたので、他のグループの単なる景観のみでなく、歴史も組みこんだ散歩コースはプレゼンをきいて散歩してみたいなと思えました。後は散歩として安全な歩道を都市化していく中でうまく自然と緑をどの世代も住める、住みたい街へと良い進化をしてほしいです。貴重なお時間有難うございました。
- 新旧住民のそれぞれの視点で街を見ている印象が勉強になった。
- 普段地図上や教科書上で計画しているだけでは見えてこない地域的な目線が大変勉強になりました。雰囲気も良く楽しい時間を過ごすことができました。
- 長く住んでいる方、昔住んでいた方、お子さんのいらっしゃる方など自分とは違う目線の色々な意見が聞けたため。
- おもしろい視点でした。年代によって見方がちがうこと。
- 街を整備する住民と街を楽しむ住民の視点のちがいを痛感できた。
- 異なる世代の多様な意見を聞いて良かった。

6. 未来創造セミナーとしてのまとめ

(1) 参加者属性

今回は学生、企業に勤めている方が参加しやすいよう平日の夕方に設定しました。狙い通り、学生が多く参加いただきましたが、企業に勤めている方の参加が低調でした。就業者は市外からの通勤者が多く、市のHPや広報誌を目にする機会がないからと思われる。さらに通勤者に参加いただけるよう告知の仕方を工夫する必要があります。

また18時からの開催でしたので、お子様と一緒に参加いただいた親子もおられました。今回のテーマは散歩道であったため、子どもでも大人と一緒に議論できる内容でしたので、子どもも積極的にワークショップに参加いただいたようです。

このようにテーマによっては小学生であっても十分に議論に参加できることがわかりました。今後はテーマによって小中高生にも門戸を広げていきたいと考えています。

(1) 属性別参加状況

属性	人数
市民	16
学生	10
企業	2
大学	0
職員	4
合計	32

(2) 性別参加状況

性別	人数
男	14
女	18
その他	0
合計	32

(3) 年代別参加状況

年代	人数
20代	8
30代	4
40代	3
50代	4
60代	0
不明	13
合計	32

(2) アンケート集計結果

今回は具体的な散歩道を取り上げましたので、南草津駅周辺に土地勘のある方であれば、性別年齢を問わず、誰でも気軽に話せた内容であったからかセミナーの運営等全般、セミナーの内容についてはいずれも高評価を得ることができました。参加者32名中24名の方に回答いただきました。

問い	非常に有意義	有意義	まあまあ	物足りない	非常に物足りない	合計
運営等全般	10	12	2	0	0	24
内容	8	12	4	0	0	24
問い	大いに活かせる		いくらか活かせる		ほとんど活かせない	合計
今後の活動	11		12		1	13

セミナーの時間については、2時間とワークショップをするには時間が足りないのではと懸念していましたが、適切であるとの回答がほとんどでした。

問い	適切	長い	短い	合計
時間	21	1	1	23

その他の自由記述の意見です。なお、表記は原文のまま記載しています。

(運営等全般に関する自由記述)

- 知らない場所がたくさんあったので、勉強になりました。
- 時間通りに終わり、充実した内容で良かったです。
- 課題のあらい出しをもっと強調して考えた方が良かったのでは？
- 新旧住民のそれぞれの視点で街を見ている印象が勉強になった。
- 草津市の今まで知らなかった魅力を知れた。
- 学生さんとふれ合えたのが、嬉しかった。
- 普段地図上や教科書上で計画しているだけでは見えてこない地域的な目線が大変勉強になりました。雰囲気も良く楽しい時間を過ごすことができました。
- たのしくておもしろかったです。
- アーバンデザインから地域的なスペース利用まで幅広い視野で南草津駅周辺を活性化させていこうという試みが興味深かった。
- 草津市外から来られた方のイベント全体の配慮が必要なのと感じた。盛り上がりは良かったが、内輪感が出ていた気がする。

(セミナーの内容)

- 長く住んでいる方、昔住んでた方、お子さんのいらっしゃる方など自分とは違う目線の色々な意見が聞けたため。
- 普段気にとめないようなことも、よく探せば面白いという発見があっておどろいた。草津市について考えている方が市民のなかでもこんなにたくさんおられたのもおどろいた。
- 学生と地元住民が参加するには良い内容でしたが、勤務で草津に来ている人にとってはわからないことが多く、あまり話に入りこめなかった。
- おもしろい視点でした。年代によって見方がちがうこと。
- 知らないスポットとか知ることができました。
- 草津駅周辺についても同じように取組みしてほしい。
- 南草津周辺のことをたくさん知れてよかったです。
- 街を整備する住民と街を楽しむ住民の視点のちがいを痛感できた。
- 異なる世代の多様な意見を聞いて良かった。
- 様々な世代、時代から「南草津」を見つめられた。30分圏内という狭いエリアでも、こんなに違うのだと驚いた。

- “散歩道を考える”という設定で街のことがこんなにもよく見えるんだと驚きました。
- 今まで知らなかった南草津駅周辺のスポットについて歴史やお店、交流スペースなど散歩したいなと思う場所を知れて良かった。
- 外に出て、散歩コースを決めると思っていたので、もう少し時間が欲しかった。草津市の土地勘が分からず、なかなか話についていけなかった。

(今後の活動)

- キケンなヶ所など、すぐに対応した方がよい 意見もたくさん出たため。
- あくまでも個人的な見解です。草津を好きな人、草津に関わる人にとっては有意義だと思えます。
- 良い所も悪い所も発見できたので。
- こういった地域の人ならではの情報を知れる機会をふやしてほしいです
- 南草津の街づくりに役立つ情報が頂けた。
- みじかな場所と話題だったので、すぐ活かそう。
- ディスカッションの有意義さを改めて感じました。
- 野地 (野路?) 近辺の地域交流活動に向けて詳しい地域の方々ならではの話を聞いてよかった。
- 居住地や地元などの取り組みに活かせると思うし、その他地域でのイベント参加の時に役立ちそう!

(開催曜日、開催時間)

- 学生など幅広い世代が来るには適切。ただし子供がいるママの参加もしやすいような配慮もあるとさらに良いかなと。
- 子どもと一緒に少しきびしい遅さ 土曜日なら地図好きの人連れて来れました残念～
- 金曜日の夕方以降

(その他伝えたいこと)

- 世代や目線によって散歩コースの違いをプレゼンで感じました。私は草津歴が短かく、今回のグループの方も草津在住でない方や学生の方でしたので、他のグループの単なる景観のみでなく、歴史も組みこんだ散歩コースはプレゼンをきいて散歩してみたいなと思えました。後は散歩として安全な歩道を都市化していく中でのうまい自然と緑をどの世代も住める、住みたい街へと良い進化をしてほしいです。貴重なお時間有難うございました。
- 学生の街としての街づくりを考えるべき
- 駅西口のすぐの公園活用
- もっと多くの市民に参加してもらえる工夫をした方が良いかなあと思います。メンバーが同じ……。
- スタバなど様々な世代の人が利用&ちょっと気軽に休めて話せる場があると人がもっと交流できると思います。
- 今日はありがとうございました。子どもを2人連れて参加させていただきました。学生

さん方が子どもと仲良くしてくださったのがとても嬉しかったです。子どももよろこんでいました。またぜひ学生さん方と子どもたちのふれ合える機会を作っていただきたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

- 南草アーバンデザインについて西口に学生が行かないとか言ってましたが、夜には毎日何人もの学生がダブルダッチの練習をしていますし、何台もの夜行バスに乗るのにたくさんの方が集まっています。立命館大学生と子供たちとセミナーをしたのですが、学生は子供たちとかかわれる機会がないし、こんな子供達とかかわれる体験はとてもいいと言ってましたから貧困家庭の小学生に勉強・宿題を教えてくれる場があれば。。。外に出れる人はよゆうのある人 いきたくても出れない人は貧困家庭。子ども食堂や学生のための100円朝食などをしてもいいのでは？ ぼうちょうして感じたことです。

(3) 未来研究所としての成果

立命館大学武田研究室と連携し、奈良大学生と合わせて10名の学生に参加いただきました。また夕方に設定したことから、子どもを連れて参加いただいた方もおられ、色々な世代が気軽に交流するという空間演出はある程度できたと考えています。また小学生等子どもの参加の可能性について検討していなかったのですが、街の散歩道という今回のようなテーマの場合、小学生でも十分に議論に参加できることがわかりました。今後は夕方以降に設定する際には小中高生の参加も想定したテーマ設定をしていきたいと考えています。

(4) 今後の課題

気軽に自由に話せる空間づくりについては問題ないと考えていますが、この良い雰囲気を持続させ、自発的な活動に結び付けていくには、いつでも自由に気軽に集まり、専門家の意見を聞き、すぐに簡単なワークショップができる常設の活動拠点が必要であるとと考えています。

以上